



## 東京湾大感謝祭 2022 横浜港大さん橋ホールで開催 10/15～10/16

～ コロナにより三年ぶりの開催、東京湾への想いが伝わるステージが響いた～

会員、関係者の協力のもとに行われてきた東京湾大感謝祭が、三年ぶりにリアル開催で戻ってきた。横浜・赤レンガ倉庫から横浜港大さん橋ホールに開催会場を変えて行われた。久しぶりに会場内でお会いできる人たちがいて、みなさまリアルな開催を待っていてくださったという実感が湧く瞬間でもあった。

会場内は、入口から全面ガラスのステージまでと縦、2列に展示ブースが設置され、コンパクトにレイアウトされている。その通路では、チーバー君やアマモンが歓迎してくれた。

ファミリーでの参加も所々に見受けられ、それぞれのブースで子供が喜び、環境、生き物について、みなとの日常の仕事について、どんな取り組みの活動を行っているかなど一生懸命に説明をしていただけました展示スタッフの皆様へ感謝です。

山女魚の展示、カニ、ハゼ、海苔、サンゴの展示など目を引きまします。山女魚の特徴を良く教えていただきました。山女魚は大きくなるとアユも食べてしまうほどの魚でだいぶ呼び名のイメージとは違うようだ。写真は、ハゼ博士による粘土工作の実演と実際のハゼ、トビハゼとカニの展示（東京湾再生官民連携フォーラム モニタリングPT、東京湾の窓PT）が行われた。



## 東京湾大感謝祭 2022 概要

会期 2019年10月15日（土）～16日（日）

会場 横浜港大さん橋ホールおよび周辺海上

主催：東京湾大感謝祭実行委員会



共催：国土交通省関東地方整備局 横浜市  
東京湾再生官民連携フォーラム  
（一財）みなと総合研究財団 東京湾の環境をよくするために行動する会  
横浜港ポート天国推進連絡協議会  
特別協力：環境省  
後援：水産庁  
来場者数：6,572名／2日間  
出展者数：全56社・団体／68小間 協賛者数：4社・団体



◇ステージプログラム

「東京湾の環境再生のこれまでとこれから」、東京湾で活躍する市民団体&PT トーク  
「みなと SDGs パートナー登録制度」の紹介～我が国港湾の持続可能な発展を目指して～  
江戸前ってすごい！～ダイオウイカやホホジロザメも？～、  
水の天使と考えよう！下水道と東京湾再生について

◇展示企画

江戸前の恵みコーナー、東京ワンダー下水道、東京湾で活躍する市民団体コーナー

◇海上イベント：

清掃兼油回収船べいくりん特別公開、親子ハゼ釣り教室、ボート・ヨット体験乗船会

会場の様子



東京産山女魚（江戸前の恵みコーナー）



ハゼ粘土工作実演



東京湾窓 PT クロベンケイガニ（海岸近くの土手などに生息、淡水性） トビハゼ展示



ステージ オープニングセレモニーシーン



岡田指標活用 PT 長による「ちょっと変だな東京湾」のプレゼン、ディスカッションシーン